

第十四條

積金者當造船所、都會ニ依リ職
ヲ罷ノタル爲メ又ハ造船所以外、社内
他場所ニ轉勤シ或ハ備員ハ昇任、爲メ
積金ヲ繼續スルコト能ハサル場合四ヶ
年以上本則ノ積金ヲ爲シ積立元金九十
六回以上現有セル口ニ付シテハ特ニ左
ノ割合ヲ以テ賞與ヲ附加スルモノトス
四ヶ年(元拾六回)以上積立テタルモノ
現在利息高、三割
六ヶ年(百四十四回)以上積立テタルモノ
現在利息高、四割
八ヶ年(百九十二回)以上積立テタルモノ

附則

現在利息高ノ五割

此ノ規則ハ大正五年十一月一日ヨリ施
行ス
明治四拾叁年九月末日前ヨリ積金ヲナ
シタルモノニ付シテハ大正八年一月迄
年六共ノ割ヲ以テ毎半ケ月重利ノ利息
ヲ附ス

備考

此ノ規則ニヨリ缺怠ナク積金ヲナスト
キハ左ノ割合ニヨリ漸次増殖ス